

美波町 議会だより

平成28年12月定例会
第43号 平成29年第1回臨時会

12月定例会の概要 …… p2
一般質問 …………… p6
各委員会報告 ………… p12



『春をつげるワカメ漁』



12月定例会の概要

平成28年第4回定例会は平成28年12月6日から12月12日までの7日間開催しました。

影治町長より、9月議会

以降の町政の進捗状況及び定例会に提案されている条例議案4件、補正予算議案7件、追加議案7件についての提案理由の説明がありました。

議案の内容

◆一般会計補正予算(第3号)

質疑

ふるさと納税支援業務委託料(1万3千円)の内容は、

答弁

ふるさと納税拡張のため、「ふるさとチョイス」というふるさと納税を支援するインターネット上のページ開設のための登録委託料である。ひと月4,050円で3か月分の委託料となる。

質疑

定住促進補助金(400万円)は、改修代としての2件分か。また、小規模事業起業支援補助金(200万円)は、何件分か。移住して起業する場合、可能な補助金はいくらになるのか。

答弁

定住促進補助金は、空き家の増改築・改修等にかかる事業費の3分の2補助、一件当たり最高で200万円、2件分。小規模事業起業支援補助金は、1件当たり100万円、2件分。空き家等を改修し、起業する場合の補助金は、合わせて300万円となる。

質疑

町長提案理由の中で、すでに3件の小規模事業起業支援補助金の交付決定がされたと言われたが、補正の予算は2件になっている。どういうことか。また、そ

れぞれの起業の内容も伺いたい。

答弁

当初予算で3件分組まれていたが、2件分追加のための補正をお願いしたい。交付決定済みの起業内容は、アクセサリ等の制作・販売、パン屋、肉屋である。今後、審査予定の1件は、ガソリンスタンドの継業に関するものが出ている。

質疑

徳島県海区漁業調整委員会委員選挙費委託金(10万8千円)の内容は、

答弁

8月3日投開票で無投票であったが、事務作業が終了し、委託金額が確定したことによる。

質疑

県セキユリテイククラウド構築費用負担金(436万円)の内訳は、

答弁

総額は3億2,960万円であるが、県と市町村で5割ずつ負担する。市町村の負担分は、3割を均等費

用、7割を変動費用とし、地方公共団体定員管理調査による職員数で按分する。

質疑

地域バス路線運行補助金(946万5千円)の今後の方向性は、

答弁

南部バス、阿南バスについては、「地域公共交通会議」の中で協議を重ねていて、今後も検討を行っていく。昨年、南部バスの利用者が多い赤松地区でのアンケート調査では現状維持を望む声が多く、今の段階ではどちらも廃止等は考えていない。

◆議案第67号から第72号の物品購入契約の締結について

質疑

購入する装置類の年式や特徴は、美波病院と同じ機種となるのか。

答弁

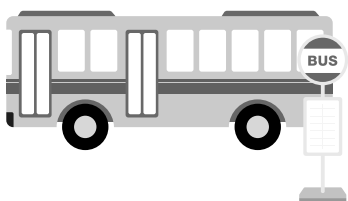
年式については詳しく把握していないが、機器の選定にはコンサル業者に入ってもらい、診療所長、スタッフや技師と協議を重ねている。現場の方針等もあり、美波病院と多少違うものもある。

質疑

請負率が高いように思うがどうか。

答弁

コンサル業者の方で絞った金額を提示してもらっている。落札は金額の一番安いところで行った。



動議

議員発議第5号として、議会広報特別委員会委員全員の不信任決議(案)が、最終日に動議として提出された。

採決結果

追加日程に追加し、議題とするかどうか、を採決した結果、賛成4、反対7で否決された。

意見書

発議第3号 参議院選挙における合区の解消に関する意見書が提出された。

【質疑内容】

○提案理由に、合区により地方の民意を国政に反映させるうえで深刻な課題を残したとあるが、どのような課題か。

答弁

合区により広範囲になるため、候補者側も以前に比

べ、有権者の民意の把握が十分ににくいという点、有権者側も候補者の声を十分に聞けなかったという現実もあることから、それらの課題だと考えている。

○提案理由に、憲法の改正も視野に入れてとあるが、選挙制度の改正に憲法の改正は必要なのか。また、合区を解消すれば一票の格差は解消されるのか。

答弁

一票の格差も踏まえて、様々な観点から専門家等の検討も行いながら、進めていくものと考えている。

【討論】

反対討論

・提案者が内容を十分に把握しないまま出している。
・合区自体は解消することは当然だと考えるが、憲法改正も含む意見書の内容には反対である。

賛成討論

なし

採決結果

賛成7、反対4で可決された。

請願

請願第2号 木岐管越の墓地計画に反対する議決を求める請願が提出された。

この請願に関しては、文教厚生常任委員会に付託されており、委員長から、「12月9日に文教厚生常任委員会を開催し、委員のうち、紹介議員となっている3名から紹介にいたった経緯について補足説明があった後、審議を行い、全会一致で採択となった」旨の報告があった。(P13参照)

採決結果

賛成11・反対0で採択された。

第1回臨時会の概要

平成29年第1回臨時会は、平成29年1月11日に開催しました。

議案の内容

日和佐浦西線排水路改修工事(第1分割)請負契約の締結について

質疑

更生工法の耐久性は。

※更生工法とは(現在の排水路をそのまま内部に強固な管を新設する工法)

答弁

耐用年数は、50年と考えている。

質疑

老朽化している排水路の上部の蓋は、やり替ははしないのか。

答弁

工事の最後に上部5cmの部分を取り除いて、アスファルト舗装を行う。



日和佐浦西線

◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

議 案	結 果
議案第55号 美波町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について(条例第13号)	可 決
議案第56号 美波町税条例の一部を改正する条例の制定について(条例第14号)	
議案第57号 美波町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について(条例第15号)	
議案第58号 美波町消防団設置条例の一部を改正する条例の制定について(条例第16号)	
議案第59号 平成28年度 美波町一般会計補正予算(第3号)	
議案第60号 平成28年度 美波町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	
議案第61号 平成28年度 美波町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	
議案第62号 平成28年度 美波町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	
議案第63号 平成28年度 美波町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)	
議案第64号 平成28年度 美波町水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第65号 平成28年度 美波町病院事業会計補正予算(第1号)	
議案第66号 平成28年度 由岐配水池更新工事(配水池築造工事)請負契約の締結について	
議案第67号 物品購入契約(日和佐診療所X線CT診断装置)の締結について	
議案第68号 物品購入契約(日和佐診療所X線TV撮影装置)の締結について	
議案第69号 物品購入契約(日和佐診療所一般撮影装置)の締結について	
議案第70号 物品購入契約(日和佐診療所CR一式)の締結について	
議案第71号 物品購入契約(日和佐診療所放射線システム一式)の締結について	
議案第72号 物品購入契約(日和佐診療所生化学分析装置)の締結について	
請願第 2号 木岐苜越の墓地計画に反対する議決を求める請願	採 択

◆各議員の賛否（賛否の分かれた議案）◆ 議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退

議 案	議 員 名	舛	岩	江	北	◎	松	永	寺	戎	向	丸	中	結 果
		田	瀬	本	山	川	本	本	下	野	山	龍	川	
		邦	公	昇	朝	尻	晋	善	博	博	篤	孝	尚	
発議第3号 参議院選挙における合区の解消に関する意見書		人	公	昇	彦	藏	児	次	子	博	宏	敏	毅	可 決
		○	○	○	×	—	○	×	○	×	○	○	×	

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。
採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。(過半数議決の場合)

平成 29 年 第 1 回臨時会 ◆各議員の賛否◆

議 案	結 果
議案第1号 日和佐浦西線排水路改修工事(第1分割)請負契約の締結について	可 決

議長の主な活動状況

(平成28年9月定例会
～平成28年12月定例会)

9月29日 四国地区町村長・
議長大会

10月28日 高知県知事・県議
会議長への要望活
動

11月9日 全国町村議長会議
長大会(東京)

11月10日 議長会議長研修

11月16日 富山県砺波市行政
視察(受入対応)

11月22日 四国8の字ネット
ワーク整備促進四
国東南部連盟四国
地方整備局要望

11月29日 四国8の字ネット
ワーク整備促進四
国東南部連盟中央
要望

◆ 各議員の出欠状況 (平成28年9月定例会～平成28年12月定例会) ◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…ー

議員名		舩田	岩瀬	江本	北山	川尻	松本	永本善次郎	寺下	戎野	向山	丸龍	中川
		邦人	公	昇	朝彦	竹藏	晋児	晋児	博子	博	篤宏	孝敏	尚毅
9月15日	総務産業建設委員会	△	△	○	△	○	○	○	○	△	ー	○	△
21日	総務産業建設委員会	△	△	○	ー	○	○	○	○	△	△	○	△
23日	文教厚生委員会	○	○	△	○	△	△	△	△	○	○	△	○
27日	議会報告会・意見交換会(観光協会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
10月12日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	×	○	ー
13日	四国地区町村議会議長会研修会	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×
17日	防災対策特別委員会行政視察(小松島市)	×	ー	○	ー	△	○	○	○	ー	△	○	△
20日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	○	×	ー
25日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	×	○	ー
26日	議会広報研修会(東京都)	○	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	○	○	ー
27日	議会広報研修会(鳥獣被害等研修)	○	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	○	○	ー
11月 2日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	○	○	ー
7日	防災対策特別委員会行政視察(三重県大紀町)	○	△	○	ー	△	○	○	○	△	△	○	ー
8日	防災対策特別委員会行政視察(和歌山県串本町)	○	△	○	ー	△	○	○	○	△	△	○	ー
12日	未知フォーラム2016 in 海陽	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×
15日	海部郡町村議会議長会議員研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
22日	テレビ中継特別委員会	ー	ー	ー	×	ー	ー	○	○	○	○	ー	○
24日	テレビ中継特別委員会行政視察(三好市)	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	○	○	○	ー	○
30日	テレビ中継特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	○	○	○	ー	○
30日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30日	議会運営委員会	△	△	○	△	△	○	△	○	○	○	○	△
12月 5日	医療特別委員会	ー	○	○	○	△	△	ー	○	△	△	○	○
9日	文教厚生委員会	○	○	ー	○	△	ー	ー	△	○	○	ー	○
12日	医療特別委員会	△	○	○	○	△	△	△	○	△	△	○	○

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

一般質問

一般質問では、独居者の死亡事故・みなみふるさと創造戦略・休耕地等の有効活用・防災対策への補助制度など、7人の議員が町の考えを質しました。

1 独居者の死亡事故について、行政はどのような対策を取るのか

答 弁
各種事業者と見守り協定を結んでいる。町単独で、とくしま生協との協定のほか民生委員による訪問などで安否確認を行っている



議員 松本 晋児

質問

町内で9月に1名、10月に1名の男性が死亡しており、また12月上旬に女性が多くなっている。このような独居者の悲惨な死亡事故

について、行政はどのような対策を取るのか。

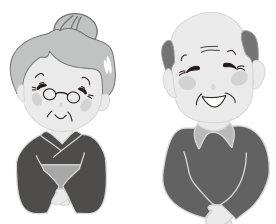
● 島田保健福祉課長

地域の見守り体制は、徳島県と市町村及び徳島新聞販売店組合等の各種事業者と見守り協定を結んでいる。

美波町単独でも、とくしま生協等との協定のほか民生委員による訪問・老人クラブによる友愛訪問・配達サービスによる配達時の安否確認等、実施している。

社会福祉協議会では、介護予防・日常生活支援総合事業における生活支援サービスとして、65歳以上の軽度介護認定者及び独居高齢者を対象に見守り訪問や見守り電話を行っている。今

後は高齢者や障がい者又は独居者に限らず、問題を抱えた家庭に対して地域住民の皆さまとの連携強化を図り、個人情報にも配慮しながら相談支援に努める。



1 認知症予防対策の一環として、小動物の飼育を

答 弁
動物と触れ合うことで情緒の安定、ストレスの軽減という効果があり、今後介護予防事業の野外活動の一環として飼育されるヤギの見学から行いたい



議員 永本 善次郎

質問

80歳で認知症の発症率は40%と言われている。犬・猫などの小動物、ヤギ・ヒツジやアンゴラウサギ等の

家畜の飼育が認知症予防に大きな効果があることが知られている。農家の遊休農地を活用して家畜の飼育を



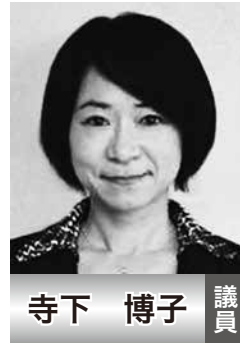
アンゴラウサギ

進めれば高齢者の介護予防・認知症予防・生産活動の向上にも資すると思うが、これを進める考えはないか。

● 島田保健福祉課長
子どもや高齢者に限らず、動物と触れ合うことで免疫力が高まり、情緒の安定・ストレスの軽減という効果はさまざまな研究から知られている。認知症予防としての小動物、家畜の飼育推進については、いささか飛躍した意見であることから、今後デイサービス、介護予防事業の屋外活動の一環として、飼育されているヤギの見学から取り組んで行きたい。

①みなみふるさと創造戦略の、今後の具体的な取り組みは

問 1つの取り組みとして、広報みなみに地方創生コーナーを設け、社会人口動態やサテライトオフィス等の進出企業の紹介、地方創生に係る事業の紹介などを行う



議員
寺下 博子

社あわえの業務支援を得ながら、戦略的に行う。

城山交流拠点施設は、8月9日の内覧会以降、回数では23回、実人数では201名が利用している。施設の目的でもある都市からの人の流れや起業者の支援と、地域間交流及び定住促進などの地域の活性化に、有効的に活用したい。

問 現在、美波町には15社のサテライトオフィスが開設されている。今後の更なる誘致や新たな展開を進めるための具体的な内容は。城山交流拠点施設の利用状況と成果は。

●磯野総務企画課長
美波町の認知度向上のための情報発信について、総務企画課を担当課として産業振興課、保健福祉課の職員からなる広報チームにより広報みなみやホームページのあり方などを、株式会

日には、「歴史文化の力でまちづくり推進協議会」を開催し、協議を行って。今後、発心の会による門前町活性化のための基礎調査に基づき最終的には、活用できる空き家を貸店舗等への活用に繋げたい。特区については、通行規制の緩和や、建物を改修するときの建築基準法、また旅館業法について、県の規制の緩和をお願いしていきたい。

問 「ICT等を活用した災害に強いまちづくり」に関して、サテライトオフィスや建築士会との連携の具体的な進捗状況は。

「ICT等を活用した災害に強いまちづくり」に関する技術・産業・設備・サービスなど総称。

●近藤消防防災課長
サテライトオフィスとの連携は、(株)スキードからの提案もあり、津波を想定した避難支援システムの実証実験に向けての協議を行う。

「一薬王寺門前町の再生」の現在の進捗と状況は。

建築士会との連携は、来年2月に自主防災会を対象に地震発生後の施設等の安全性を確認するための講習会を開催する。

問 計画の推進にあたっては、「3つの全国発信プロジェクト」の中で、全員参加の集落再生モデルの展開としてイザリモデルが挙げられている。住民自らの発案環境の整備状況は。

●磯野総務企画課長
地域づくり推進条例の制度を補完するものとして、人材育成にかかる補助制度を新設した（広報みなみ12月号参照）。

問 2021年5月に開催される「関西ワールドマスターズゲームズ」のトライアスロン・アクアスロン競技の美波町開催が決

定された。本町の人口推計では、5年後には、今より100人以上人口が減少し、高齢化率も50%に限りなく近づく。町民の半分が65歳以上となるその現実を見据え、今後どのように準備していくのか。

●影治町長
県や競技団体、他市町村、交通・宿泊・観光・医療・大学・報道等の各機関、また町民の皆様やボランティアのご支援をいただきながら、大会に向けての準備を進め、今後の美波町の更なる活性化の1つの契機にしたい。



WORLD
MASTERS
GAMES
2021 KANSAI



1 町が主宰し、休耕地等の有効活用を

答 弁
地域での自立的な協議が大切



議員
向山 篤宏

質 問

美波町における遊休農地や休耕地の有効活用のための施策を検討する場はどこか、適当なところがなければ、新しく設けられないか。また、効果が見込まれる地域等において町が積極的に主宰して検討する場の設置や指導はできないか。

●小坂産業振興課長

農業委員会の付属事務や美波町地域農業再生協議会など、またその他、町、JA、美波農業支援センター等が連携・協力して農業の持続可能性を高める試みを行っている。現在あるもの以外に新しい組織の設置に

についてはマンパワーがなければ機能しないと思われる。町が積極的に主宰するという他力本願的なものではない立的な運営になりえないと考えられるので、地域周囲での十分な協議のうえ取り組みをお願いしたい。



遊休農地を活用したドクダミの苗床

2 人間ドック費用の一部助成を

答 弁
まずは特定健診の受診率向上に努めたい

質 問

町実施の健康づくり事業や特定健診等に対する町民の意識はどのような現状であるか、さらに意識を高めることが必要であると思うが今後の取り組みは。

また、人間ドックの受診効果が高ければ、その費用の一部を助成してはどうか。

●島田保健福祉課長

食や健康づくりを習慣とされている方が増加している反面、食事や運動など健康づくりのための習慣に関心のない方もいる。今後も保健師等による家庭訪問や保健事業などの機会や広報を活用して健康づくりの意識の向上に努めたい。

人間ドックについては、その検査項目は特定健診のものより詳細であり、疾病等の早期発見率は高くなると思われ、ド

ック費用の一部助成の検討も必要と考えられるが、まずは特定健診の受診率向上に努めたい。



①防災への補助制度の充実を

弁 避難路確保は重要で各種助成制度を
答 今後検討していきたい



議員 戎野 博

までの避難路確保に取り組んでいくべきではないか。併せて街並みが生垣で囲われることでの緑のまちづくりを進めてはどうか。

質問 防災特別委員会で視察してきた串本町では主な避難路となる道路沿いのブロック塀の倒壊による避難困難を防ぐためにブロック塀等の撤去と生垣づくりへの補助事業に、12年前から取り組んでいる。倒壊の恐れのある長さ2m以上のブロック塀撤去工事に9割の補助金（上限30万円）や新たな生垣づくりに1mにつき23,500円、または工事費の2分の1の補助制度をつくり避難路の確保を図っている。

美波町でもこのような補助制度を創設し、避難場所

また、防火対策として、串本町では簡易な「感震ブレーカー」の取り付け補助（工事費用の2分の1）を行い、家屋倒壊後の通電火災を防ぐための補助をしているが、本町も密集家屋が多いだけにそのような対策補助に取り組めないか。

●近藤消防防災課長

本町には「あわえ」といわれる路地などが沢山あり地震発生時にはブロック塀や老朽空き家などの倒壊により避難路が遮断される。住宅密集地における避難路確保は非常に重要で美波町国土強靱化地域計画の中でも防災機能を図るため、「各種補助事業を活用したブロック塀の撤去に努める」

と、記載しているので今後、自主防災会や町内会と協議しながら避難路確保の施策を講じていきたい。県の補助事業と照らしあいながら助成の制度設計を検討していきたい。

感震ブレーカー等の普及・設置については必要であり、助成制度については今後、検討したい。

②木岐笠越地区での樹林葬（墓地建設）の対応について

弁 許可権者として関係法令に照らし、慎重に
答 取り扱っていく

質問

12月5日木岐公民館で開催された墓地経営許可に関する対応について春日神社関係者と町と地域住民との説明会では住民からの強い反対意見にもかかわらず添付書類が整えれば審査を町が行い許可の可否を決定す

るとの説明があつたが、地域住民の意向を無視する姿勢でいいのか。

許認可の審査対象として地域住民へのメリット、デメリットの把握は。申請を受理した日はいつで何日以内に許可の可否を決定するのか。資金計画、収支状況の把握はされているのか。墓地の形式説明ではコンクリート製の箱（1・5m四方高さ1m）に150霊を収納しながらそれを100〜150個増設し1霊5万円×2万2,500体（11億2,500万円）の計画年数及び収支計画は。永代使用料収入が見込めなく破

たん放置された場合遺骨処分等、誰が管理責任を取っていくのか。隣接住民の意向を配慮することが重要であると町は認識していいのか。

●山本住民生活課長

県からの権限移譲により、申請があればメリット・デメリットに関係なく法令に照らして許可の可否を徳島県や有識者の意見を伺いながら慎重に審査せざるを得ない。申請書は上がっているがまだ正式には受理していない。資金計画その他責任等については今後申請者との協議を進めて参りたい。

●影治町長

墓地経営の事業は町が誘致した事業ではなく、県からの権限委譲で町に事務が来たわけで許可権者として法律に基づいて審査していく審査権者の立場で慎重に取り扱っていく。



木岐笠越地区

①町長は産業振興計画をつくる責任がある。有能な職員を選任し、美波町に合う政策をつくれ

答 弁 町職員のフル活用と、アイデアを広く求めるのを両方合わせて行う



議員 北山 朝彦

という提案だった。提案者には、12月15日までに募集期間を延ばす経過を記した文章を送り、あとから届く提案と一緒に審査する旨を通知している。

質問 町は、10月31日締め切りで産業振興計画案を募集した、締め切りまでに提出された作品は、どのように処理され、どのような内容か。

●小坂産業振興課長 美波町内発型産業振興及び地域活性化事業等提案募集事業の現状は、現時点で町内外から4件の提案が届いており、まだ数件の提案があると聞いている。10月末に届いた1件の内容は、日和佐町で製造していた紅茶を、遊休化した農地や荒地に移植させ復活させる

という提案だった。提案者には、12月15日までに募集期間を延ばす経過を記した文章を送り、あとから届く提案と一緒に審査する旨を通知している。

質問

提出されているあと3件の内容はどのようなものか。

●小坂産業振興課長

3件の内容は、「ジビエ的な料理についての取り組み」、「個人的に開設されているオープンコミュニティスペース使ったの様々な取り組み」、「具体的というよりは、様々な可能性を列挙した抽象的な提案」であった。

質問

答弁より、美波町の産業

振興につながるのか疑問に感じる。町は産業振興計画をつくる責任があり、町長は責任者である。また、町長には人材があり、時間・金がある。町は有能な職員

を選任しプロジェクトチームを立ち上げ、美波町にマッチする政策をつくっていくこと提案する。

●影治町長 議員が言う、町職員をフ

②住民は、「医師に、ジェネリック医薬品使用の希望を言いにくい」と思っている

答 弁 先生には伝えていたので、希望してもらいたい

質問

保健福祉課は、「ジェネリック医薬品に切りかえた場合の薬代の軽減」に関する通知を出している。それに相反し美波病院ではジェネリック医薬品を置いてない

●橋本病院事務長

美波病院はジェネリック医薬品を置いてないわけではない。診察時に医師に相談し希望を伝えてもらいたい。ジェネリック医薬品に置きかえた場合の病院会計への影響はないと考える。

●島田保健福祉課長

通知は、国保加入者で医療機関受診者が対象。国保連合会が適宜抽出し毎月通知を出している。

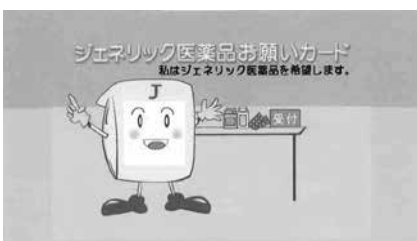
ル活動させるのはもちろんだが、色々なアイデアを広く求めるのも否定されるものではないと考えるので、両方併せ持つ感じで行こうと考えている。

質問

出前講座で、住民から「ジェネリック医薬品を希望したいが、医師に希望するのはなかなかしづらい」との意見が出たがどうか。

●橋本病院事務長

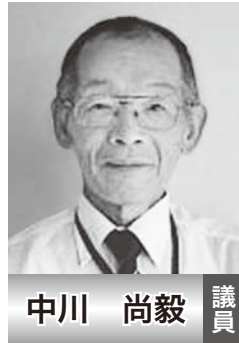
先生方にはジェネリックを使い方の方の希望があれば相談のつてくださいと伝えていく。



ジェネリック医薬品お願いカード

①介護保険サービス事業と介護予防総合事業を分離するとはどういうことか

弁 軽度認定者及び一般高齢者に対するサービスを社協の事業で実施する



議員 中川 尚毅

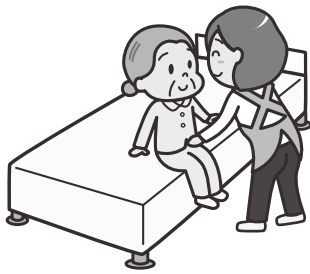
質問

介護保険料を上げないために、介護保険事業と介護予防事業を分離するということだが、利用者は具体的にはどうなるのか。

●島田保健福祉課長

美波町介護保険料基準額は、合併の平成18年度第3期事業4,700円、第5期では5,800円と県内最高であった。介護給付費の適正化に取り組んで、平成27年度第6期事業では据え置いて第3位になったが、給付費の支出額は増えている。また徳島県第3期介護給付費適正化計画では

第1号被保険者(65歳以上)一人あたりの介護給付費は34万円2千円と県内最高で、平成30年度第7期からは介護保険料基準額を上げざるを得ない状況にある。保険料を下げるために、平成29年4月から介護保険サービス事業と介護予防総合事業との分離に取り組む。介護事業所は原則として、要介護認定者(重度認定者)に対してサービスを提供することとし、社会福祉協議



会は介護予防サービス事業の拠点として、要支援認定者(軽度認定者)および一般高齢者に対してサービスを提供し、地域包括支援センターの介護予防事業と連携を強化する。通所サービス・訪問サービスについても、サービスの受給事情および地域性も考慮している。利用者と家族には十分な説明と配慮をしながら利用事業所の変更を行う。

②「ねんりん」の改築移転に伴い長寿村は どうなるのか

弁 長寿村でのサービスはなくなる

質問

長寿村の利用者は、今までどおりのサービスが受けられるか心配しているが。

●島田保健福祉課長

長寿村のデイサービス事業と支援ハウス事業は、新



支援ハウス 長寿村

旧の「ねんりん」施設に移転する。その場合、長寿村の指定管理契約を解除し、長寿村でのサービスはなくなる。今回の事業分離にかかる対象者に対して説明する。

— 議会広報委員会からのお詫びと訂正 —

議会だより第42号で間違いがありましたので、お詫びして訂正します。

- | | | |
|-------|-------------------------------------|---|
| 3ページ | サービス部会で決定している。…………… | 誤 |
| | サービス部会で入所判定委員会に上げるかどうか協議をしている。…………… | 正 |
| 4ページ | 影治町長より9月議会以降の進捗。… | 誤 |
| | 影治町長より6月議会以降の進捗。… | 正 |
| 11ページ | 養殖地…………… | 誤 |
| | 養殖池…………… | 正 |

各委員会報告

防災対策特別委員会

三重県大紀町及び和歌山県串本町 防災対策視察研修

平成28年11月7～8日、三重県大紀町及び和歌山県串本町において、先進的な防災対策について行政視察を行いました。



避難タワーの説明を受ける



大紀町 錦タワー

今回の視察を終えて、大紀町及び串本町においては、東日本大震災以前より地震発生後、5分以内に避難できる高台の確保を目指し防災対策の施策を積極的に講じており、南海トラフ巨大地震に対応した対策が進められていると感じました。美波町においても両町の事

例を参考にしながら、可能なところから高台移転も含め、防災・減災対策強化を進めていくべきだと考えます。今後、町当局に提言をしていきたいと思えます。

住民に情報を知らせたい三好市議会

テレビ中継特別委員会

(平成28年11月24日)

三好市(人口約28,000人、13,161世帯)には池田ケーブルテレビネットワーク(ICN)が市内全域を光ファイバーでつなぎケーブルテレビ放送の運営を行っている。テレビ加入(7,334)とインターネット(1,780)利用料で主に運営しながら、市からの指定管理を受けて住民に行政情報と議会中継を一般質問、各常任委員会、特別委員会など全て開会中は生中継で放送し、1週間後には録画編集した再放送をしている。

伝え、議会事務局との調整にあたっている。

議会中継の初期費用は約1,400万円で市からの支出は指定管理料(年間260万円)のみ。

参加した委員からの視察報告では『住民に情報を知らせたい』という山子議長の熱意、『現状でのデメリットはない』という「先進地の取り組みに意識の違いを痛感した」「防災ライブカメラや観光ライブカメラは視覚に訴えられる最もいい方法だと思った」などが上がった。

今後の課題として阿南市のテレビ中継導入への視察やテレビ徳島へ委託した場合の試算、情報発信手法等について聞きたい、財源確保の支援策や直営放送(東みよし町、那賀町)か、指定委託するかなど実現しやすい方法を検討していくことになった。

(文責: 戎野 博)

医療特別委員会

保健センター
5月末完成予定

平成28年12月5日に委員全員と議員4人の出席のもと、医療特別委員会を開催しました。

【議案の内容】

11月現在で34%の工事進捗となっている。9月において非常に雨が多かったため2カ月遅れということになつてい

日和佐診療所
院内薬局へ

平成28年12月12日に委員全員と議員4人の出席のもと、医療特別委員会を開催しました。

【議案の内容】

日和佐診療所収支見込み(概算)について、28年度は職員21名分の人件費で、



保健センター完成図

保健センター部分については、成案になつてはいないが、保健福祉課・地域包括支援センター・美波町社会福祉協議会が入るという前提で、新しく課を設けることも検討している。

文教厚生常任委員会

墓地計画に反対する請願を審議

平成28年第4回定例会中の12月9日に、委員全員と議員2人の出席のもと議長から付託された請願の審議のため委員会を開催しました。

議題

木岐管越の墓地計画に反対する議決を求める請願の審議について

【請願の趣旨】

住民の意向、漁業組合の意思に反して計画されている墓地計画は、木岐地区にはメリットがなく木岐地区の環境悪化や価格の低下などが心配される。許可にかかわる審査は住民の希望にそつて行われるべきであり、美波町議会には住民中心の行政事務が行われるよう求める。

【紹介議員の補足説明】

- ・一度許可すれば、後が大変である。
- ・住民の反対の意思をよく受け止めたので、紹介議員になつた。議会は住民の意思を尊重していくべきと思う。
- ・付託された議案は、原則会期中に審査を終了し、その結果を速やかに本議会に報告し本会議において審議することを確認したい。

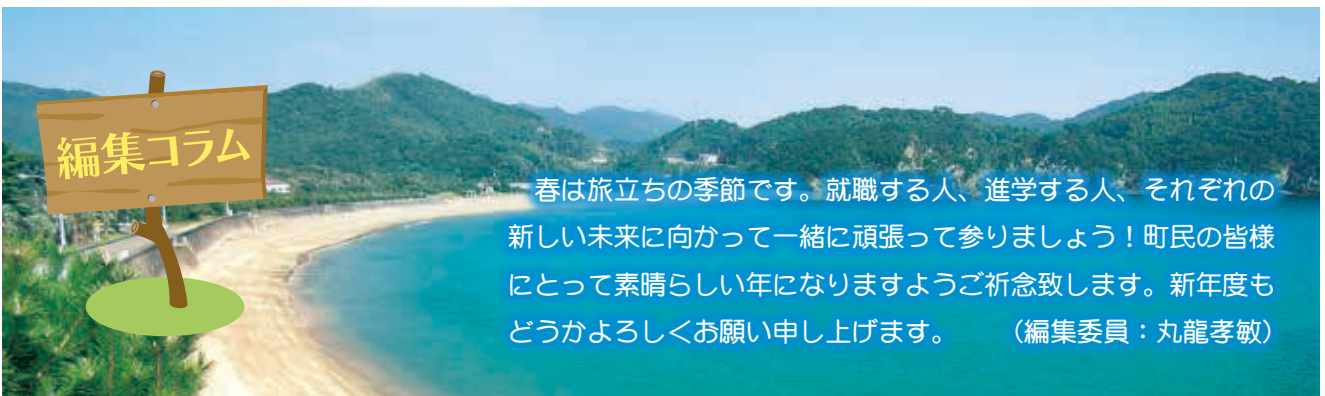
審議の結果、全会一致で採択



恋人岬（大浜海岸）より
神子の穴を望む



この恋人岬あたりには、神子の穴と以前遍路穴と呼ばれた大きな洞窟がありました。
半世紀前には宿泊施設も少なく、お遍路さんがこの遍路穴で野宿をしていました。



春は旅立ちの季節です。就職する人、進学する人、それぞれの新しい未来に向かって一緒に頑張って参りましょう！町民の皆様にとって素晴らしい年になりますようご祈念致します。新年度もどうかよろしく願い申し上げます。（編集委員：丸龍孝敏）

● 議会広報特別委員会 ●（お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630へ）

委員長：松本 晋児 副委員長：寺下 博子 委員：舛田 邦人 委員：向山 篤宏 委員：丸龍 孝敏